

日韓における



オンラインシンポジウム

食支援を基本とした子どもの地域生活支援の展望を探る

～日本の子ども食堂、韓国の地域児童センター・みんなケアセンターに着目して～

参加費
無料

2022年

11月6日(日) 13時30分～16時50分

日韓における今後の子どもの地域生活支援活動の方向性を探る機会として、オンラインシンポジウムを開催します。ボランティアが主な担い手となって展開される日本の子ども食堂。公的サービスとして展開される韓国の地域児童センターやみんなケアセンター。両国の現場の活動家による報告、オピニオンリーダーの講演を通して、活動の意義や政策課題等について学びます。

開催方法 **Zoomによるオンライン開催**

定員 **先着300名**

申込期限 **10月28日(金)**



申込方法

<https://forms.gle/uVkgYP8J8B8L2G5t7>

上記URL、または二次元コードを読み取り、お申し込みください。申込手続きが完了した場合、登録メールアドレスに受付メールが自動送信されますので、必ずご確認ください。開催日が近づきましたら登録メールアドレスに当日のパスコード等をお送りします。

お問合せ先

メール(担当:蘇・本)
kodomoshokusienkenkyu@gmail.com



湯浅誠氏



尹惠美氏

プログラム

13:30	開会あいさつ
13:40	基調講演 日本:湯浅 誠氏(認定NPO法人全国子ども食堂支援センター・むすびえ理事長) 「日本の子ども食堂運動の経緯、社会的意味と今後の展望(仮)」 韓国:尹 惠美(ユンヘミ)氏(児童権利保障院 院長) 「子どもの地域生活支援の仕組みづくりの経緯、現状、展望(仮)」
14:40	日韓の活動家による実践報告 子ども食堂「ココカラ」 代表:北村 万浪氏(愛知県岡崎市) 市川子ども食堂ネットワーク 代表:渡邊 裕美氏(千葉県市川市) 三陟(サムチョク)地域児童センター センター長:金 貴哲(キム ギチョル)氏 城南(ソンナム)市みんなケアセンター1号店(銀杏1洞子ども食堂) センター長:姜 敬愛(カンキョンエ)氏
16:10	質疑・まとめ
16:50	終了

主催:日韓子どもの食支援研究プロジェクトチーム(所属:和洋女子大学・岡崎女子大学・中部大学・岡崎市社会福祉協議会)

後援:公益財団法人韓昌祐・哲文化財団、認定NPO法人全国子ども食堂支援センター・むすびえ、あいち子ども食堂ネットワーク、千葉県子ども食堂連絡会、愛知県社会福祉協議会、千葉県社会福祉協議会